

伊能忠敬が住んだ家

伊能忠敬旧宅



小野川に面して店舗・炊事場・書院及び土蔵がらなり、国の「史跡」に指定されています。店舗と正門は忠敬が17歳(1762年)で婿養子に入る以前の建物で、書院は忠敬が設計したと伝えられています。店舗は桁行七間、梁間三間の切妻、土蔵造りです。旧宅内の奥に建つ土蔵は桁行四間、梁間三間の切妻造りで、入口の扉は観音開きが普及する以前の引き戸のもので、市内でも貴重な土蔵です。



伊能忠敬をはぐくんだ町

佐原



佐原は、江戸時代から利根川水運の中継港として発展し、商人の町として栄えました。伊能忠敬旧宅の近辺には、江戸・明治・大正・昭和期の町家・土蔵・レンガ造りなどの情緒漂う建物が数多く残っており、関東で初めて国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。

交通案内



自動車 東関東自動車道 佐原・香取インターチェンジから15分
国道51号線 通称山之辺交差点から5分

電車 JR佐原駅下車徒歩10分



三菱館



山車会館

利用案内

- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 月曜日(但し、休日の時は開館し、翌日休館)
国民の祝日の翌日
年末年始 旧宅は年末年始のみ休館

■入館料

	大人	小・中学生
個人	500円	250円
団体(15名以上)	450円	200円

伊能忠敬記念館

〒287-0003 千葉県香取市佐原1722-1
電話 0478(54) 1118 FAX 0478(54) 3649

登録博物館

伊能忠敬記念館

